



## 2024年8月期 第2四半期決算説明資料

2024年4月25日

株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス

東証スタンダード市場：2927



## 目次

Section 1	当社を取り巻く環境 －主軸ヘルスケア事業の市場動向－	-----	P3
Section 2	2024年8月期 第2四半期決算報告	----	P7
Section 3	各施策の進捗	-----	P13
Section 4	2024年8月期 通期見通し	-----	P20
	(ご参考1) 年度ごとの業績・決算情報	-----	P24
	(ご参考2) 将来のビジョン (M&Aの方針)	----	P34



Section 1

## 当社を取り巻く環境

－ 主軸ヘルスケア事業の市場動向－

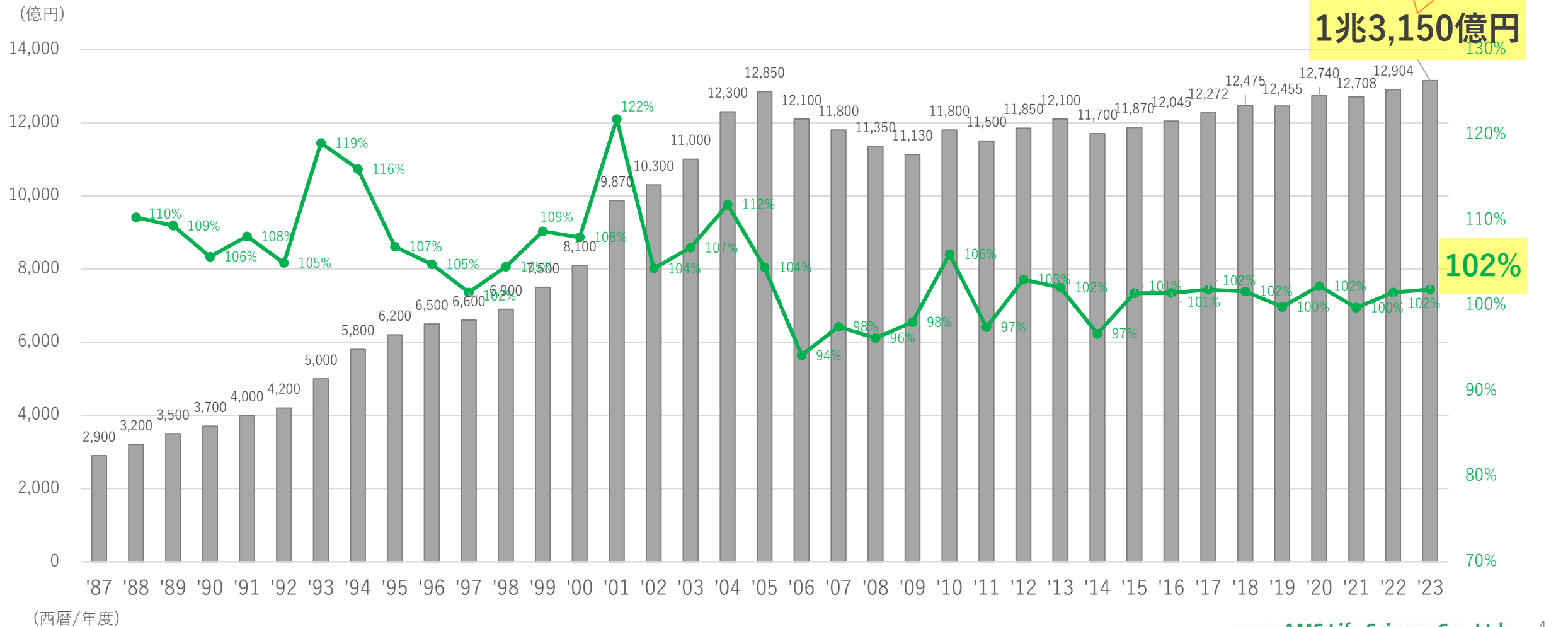
# 【市場環境】健康食品市場の推移

単体

【出所：2018.12.21、2023.12.26 健康産業速報掲載】を基に当社で作成

## 健康食品市場の推移

(特保除く、機能性表示食品のサプリメント形状含む)

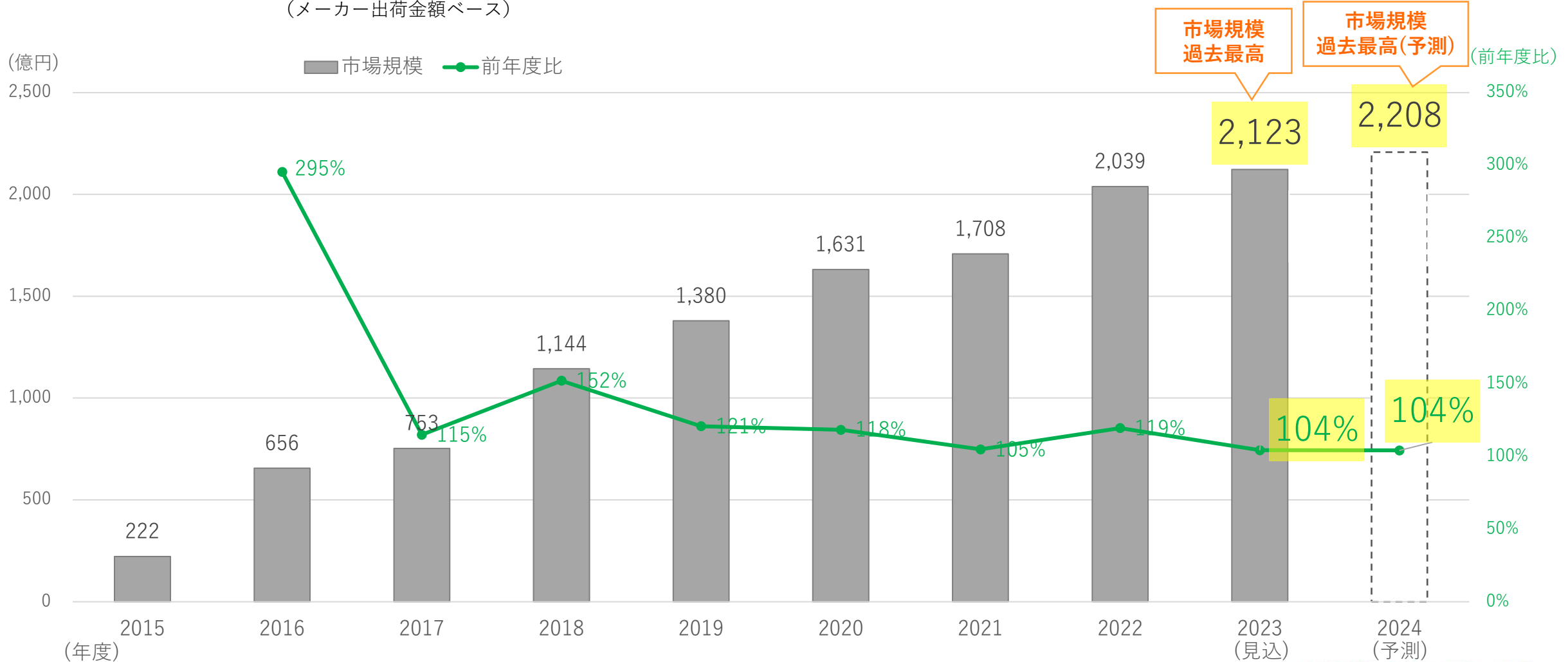


# 【市場環境】健康食品：機能性表示食品(サプリメント)市場の推移

## 機能性表示食品(サプリメント)市場の推移 (メーカー出荷金額ベース)

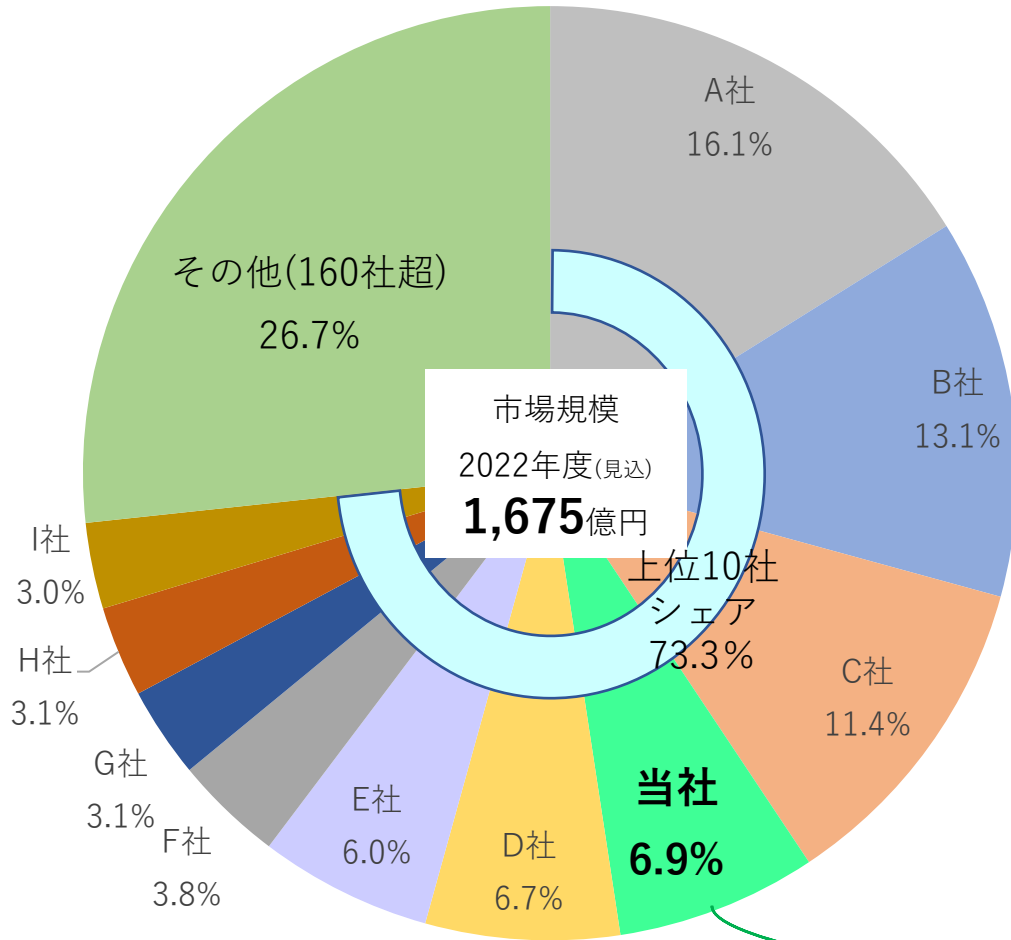
【出所：2019.12.27発刊、2024.1.31発刊 2020年版、2024年版  
健康食品の市場実態と展望～市場調査編～／矢野経済研究所】を基に当社で作成

\* 矢野経済研究所推計



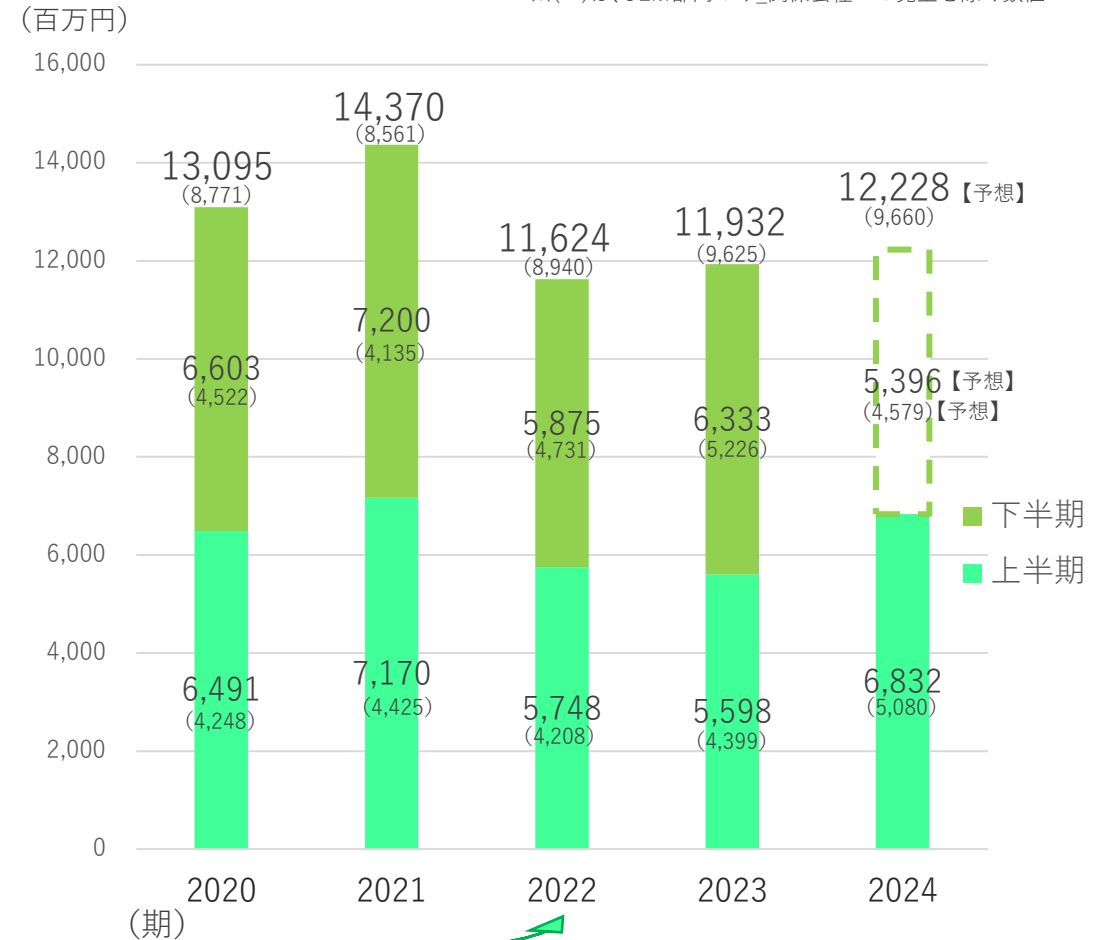
# 【市場環境】健康食品：受託製造（OEM）市場規模とシェア

【出所：2023.7.31発刊、2023年版 健康食品の受託製造（OEM）市場 / 矢野経済研究所】を基に当社で作成  
\* 矢野経済研究所推計



## 当社売上高〔単体※関係会社への売上を含む〕

※( )は、OEM部門のみ\_関係会社への売上を除く数値





Section 2

2024年8月期 第 2 四半期決算報告

## サマリ AFC-HDグループ【連結】

連結

- ・2024年度第2四半期(累計)実績は、前年比で売上高117%、営業利益151%となった。
- ・特に、コロナ収束に伴い、ヘルスケア事業における海外販売が伸長。飲食事業の回復等。

		(百万円)			(百万円)				
		2023 / 2Q累計 実績	2024 / 2Q累計 実績	増減額	前年比率	2024 / 2Q累計 当初業績予想 (2023/10/13公表)	達成率	2024 通期 業績予想 (2023/10/13公表)	進捗率
売上高		12,444	過去最高 14,542	+ 2,098	117%	13,764	106%	28,455	51%
営業利益	A	678	過去最高 1,023	+ 345	151%	771	133%	1,801	57%
(営業利益率)		(5%)	(7%)	(+2%)	-	(6%)	-	(6.3%)	-
経常利益		708	過去最高 1,060	+ 352	150%	763	139%	1,788	59%
(経常利益率)		(6%)	(7%)	(+2%)	-	(6%)	-	(6.3%)	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益		414	※過去2番目 641	+ 227	155%	471	136%	1,123	57%
(親会社株主に帰属する 四半期純利益率)		(3%)	(4%)	(+1%)	-	(3%)	-	(3.9%)	-
減価償却費	B	476	526	+ 50	111%				
EBITDA (A+B)		1,154	1,549	+ 395	134%				

※親会社株主に帰属する四半期純利益 過去最高 2021/2Q累計 734百万円

※2023.10.02にグループ化した浜松の企業(クレアライズ㈱及び同社子会社1社、孫会社6社)を、2024.2QよりPLに加算(みなし取得日:2023年11月30日)



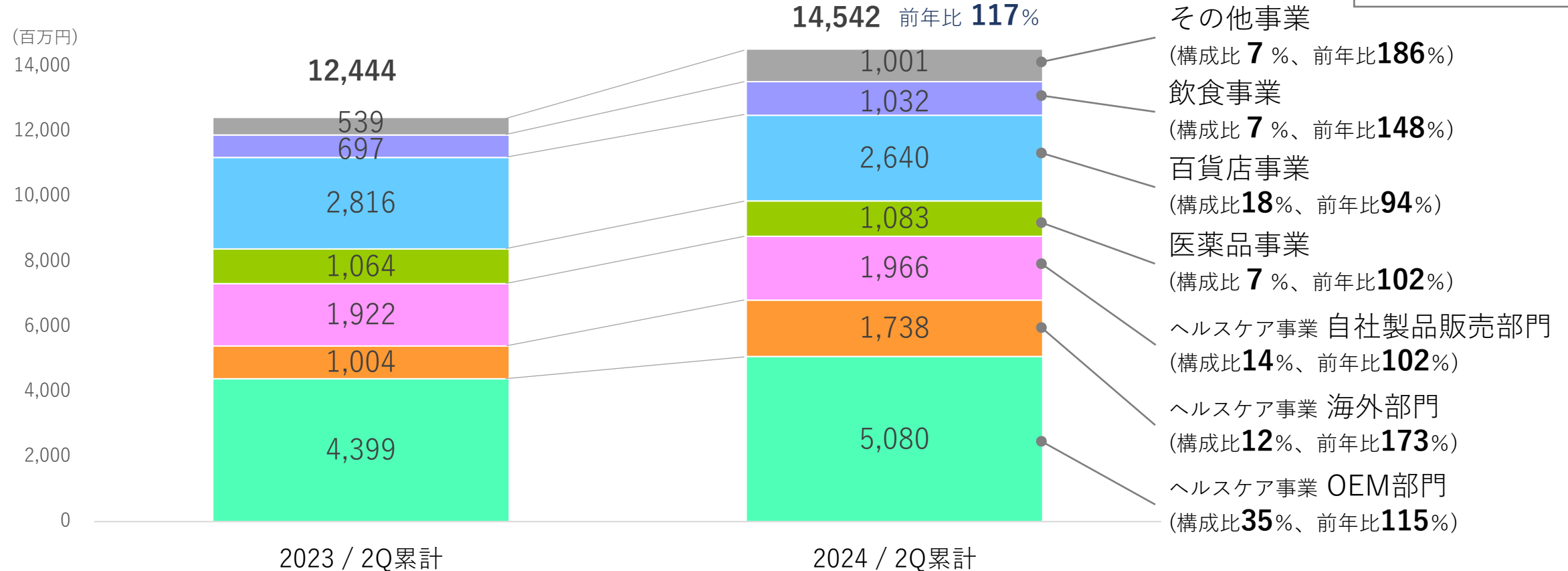
# 事業別売上高【連結】

ヘルスケア事業：主軸OEM部門が堅調。海外部門はコロナ収束に伴い、既存顧客における美容商材が回復。

医薬品事業：ジェネリック医薬品と漢方薬OEM受注が好調。

百貨店事業：昨年6月のヤマダデンキ開店以降、入店客数の増加等に加え、賃料収入が拡大。  
昨年9月～今年3月迄ヨークフーズ出店のため、横須賀店地下1階を改装工事。

飲食事業：全体的に回復傾向、中でも法人関係の宴会や会食が増加。

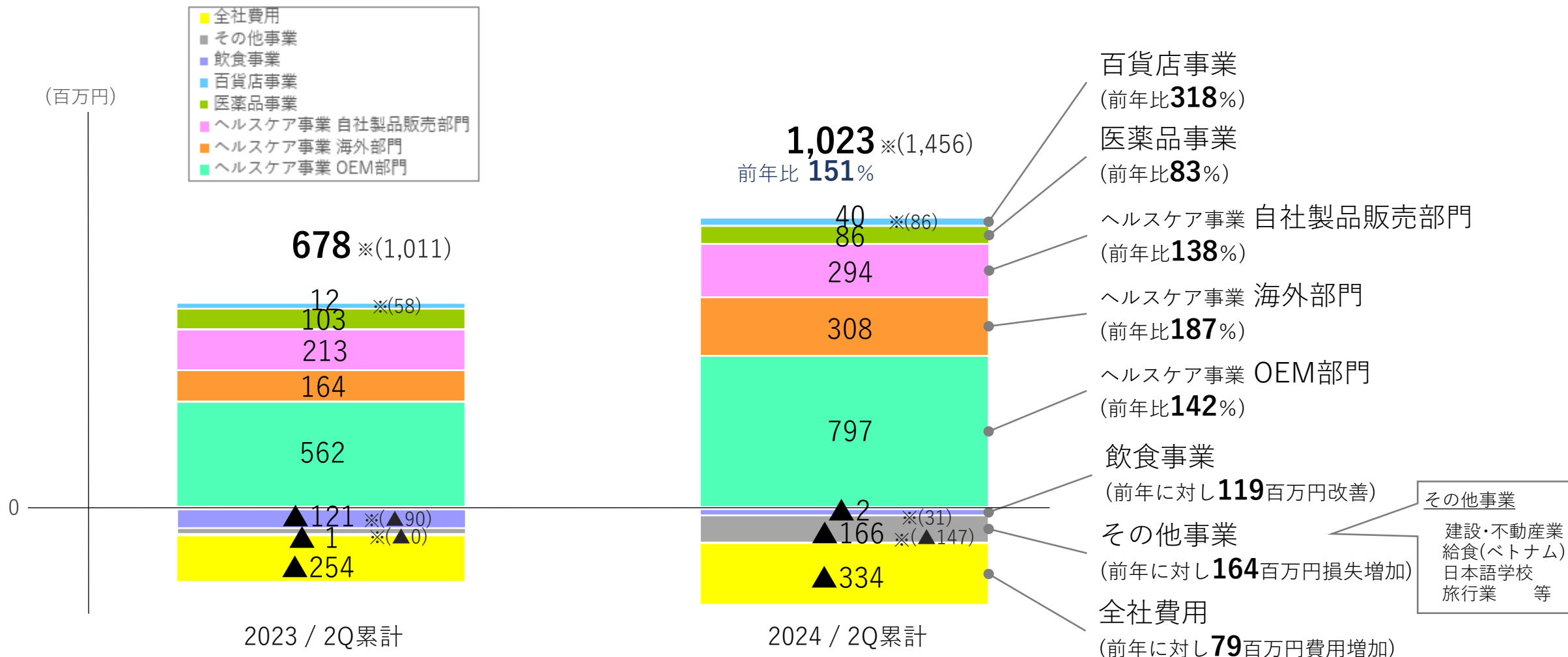


**その他事業**  
建設・不動産業  
給食(ベトナム)  
日本語学校  
旅行業 等

※2023.10.02にグループ化した浜松の企業（クレアライズ(株)及び同社子会社1社、孫会社6社）を、2024.2QよりPLに加算（みなし取得日：2023年11月30日）

# 事業別営業利益【連結】

※( )は、のれん代(2023/2Q累計:78百万円、2024/2Q累計:98百万円)を償却していません。



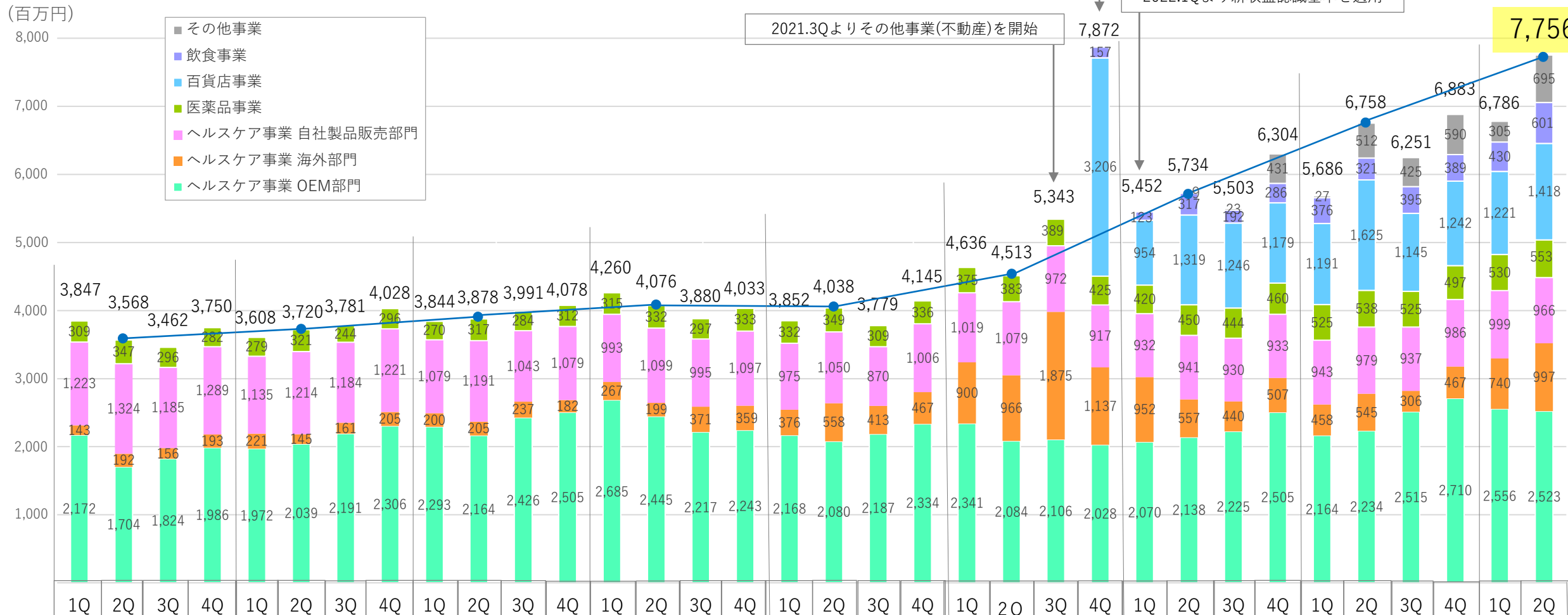
※2023.10.02にグループ化した浜松の企業(クレアライズ(株)及び同社子会社1社、孫会社6社)を、2024.2QよりPLに加算(みなし取得日:2023年11月30日)

# 部門別の四半期ごとの売上高推移【連結】 (1/2)

連結

連結売上高は、第2四半期（12・1・2月）として過去最高

2021.4Qより百貨店事業、飲食事業を開始  
 2021.3Qよりその他事業(不動産)を開始  
 2022.1Qより新収益認識基準を適用  
 2024.2Qよりグループ化したクリアライズ(株)をPLに加算



(期)	2016				2017				2018				2019				2020				2021				2022				2023				2024	
通期売上高	14,631				15,141				15,795				16,252				15,819				22,368				23,024				25,579				28,455(予)	
通期営業利益	890				1,069				1,023				981				1,093				2,245				1,015				1,636				1,801(予)	

## 連結BS概要【連結】

2023年10月2日にグループ化したクリアライズ(株)及び同社の子会社1社、孫会社6社が加わったことにより、資産、負債が増加

(百万円)

	2023 / 4 Q末	2024 / 2 Q末	増減額	前年比率
流動資産	19,875	20,698	+ 823	104%
固定資産	21,196	23,612	+ 2,415	111%
資産合計	41,071	44,311	+ 3,239	108%
流動負債	14,854	16,303	+ 1,448	110%
固定負債	13,059	14,376	+ 1,316	110%
株主資本	13,006	13,525	+ 518	104%
その他純資産	150	106	△44	71%
負債純資産合計	41,071	44,311	+ 3,239	108%
現預金 A	11,182	10,304	△877	92%
有利子負債 B	19,577	21,774	+ 2,197	111%
Net Debt (B - A)	8,395	11,470	+ 3,074	137%



Section 3

## 各施策の進捗

## ヘルスケア事業 OEM部門

- 広告表現に対する規制が強まる中で、機能を表示できる機能性表示食品全般の受注が堅調。
- コロナ収束に伴い、来客数の増加やインバウンド消費の回復等により、ドラッグストア等の店舗販売業の顧客における受注が増加。

### ◇ 「紅麹」問題について

2024年3月22日(金) 小林製薬(株)が「紅麹関連製品の使用中止と自主回収」を公表



### ■ 当社の状況について

- ・ 自社国内AFCブランド商品には、紅麹を使用した製品はありません。
- ・ 原料商社のエステック(株)から仕入れ、他社ブランドの製品 (OEM) を、国内11社・国外2社へ製造販売。年間売上高は約7,000万円。
- ・ 該当ロット (小林製薬の「意図しない又は想定していない成分」が含まれている可能性がある原料) は、使用しておりません。

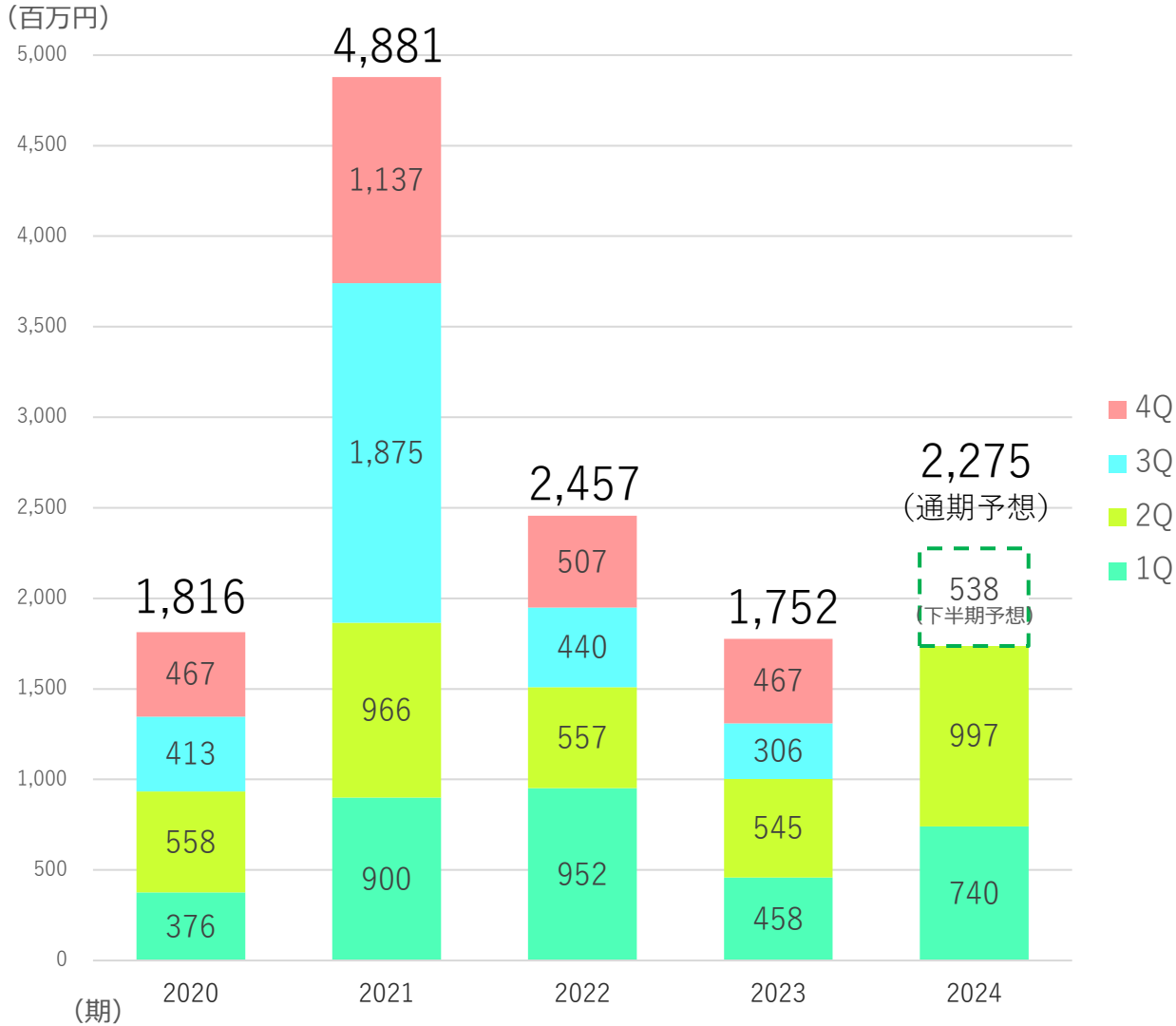
### ヘルスケア事業 OEM部門

2024年8月期 通期予想 売上高 9,660百万円 (前期比 100%)  
営業利益 1,380百万円 (前期比 100%)

# ヘルスケア事業 海外部門

連結

ヘルスケア事業 海外部門 売上高



- ・ コロナ収束に伴い、既存顧客における美容商材（NMN等）の受注が回復基調で推移

\* NMN…アンチエイジング商材

- ・ 育成中の外国人営業スタッフによる母国等での新規顧客獲得により受注が伸び始めている



- ・ 工場の生産効率が上がり、収益性が上がる
- ・ 海外販売は国内販売に比べ売上総利益率が高い

ヘルスケア事業 海外部門  
2024年8月期 通期予想

売上高 2,275百万円（前期比 128%）  
営業利益 380百万円（前期比 140%）

# 医薬品事業 本草製薬(株)

本草製薬

連結

## ■ジェネリック医薬品の好調

販売を強化してきた利益率の高いジェネリック医薬品の売上比率が高くなり、粗利益率が改善。

## ■漢方薬のOEM受注が好調

- ・投資した医薬品の生産設備を活用
- ・稼働率が上がったことにより、粗利率が向上
- ・新規設備により、西洋薬への進出

安定的に黒字が出せる体制になった

## ■薬価

医療用漢方製剤の薬価が、2024年4月1日から1.5倍に上がった。  
これにより、月2,500万円の売上、利益が上がる。



ピムロ顆粒（下剤）  
2017年11月発売



シルденаフィル錠（ED治療薬）  
2014年9月発売



フィナステリド錠（AGA治療薬）  
2016年12月発売



タダラフィル錠（ED治療薬）  
2020年4月発売

### 漢方薬のOEM



八味地黄丸エキス錠



ヨクイニン錠



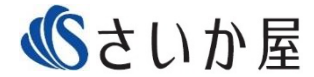
防風通聖散エキス錠

## 医薬品事業

2024年8月期 通期予想 売上高 2,200百万円（前期比 105%）  
営業利益 211百万円（前期比 104%）



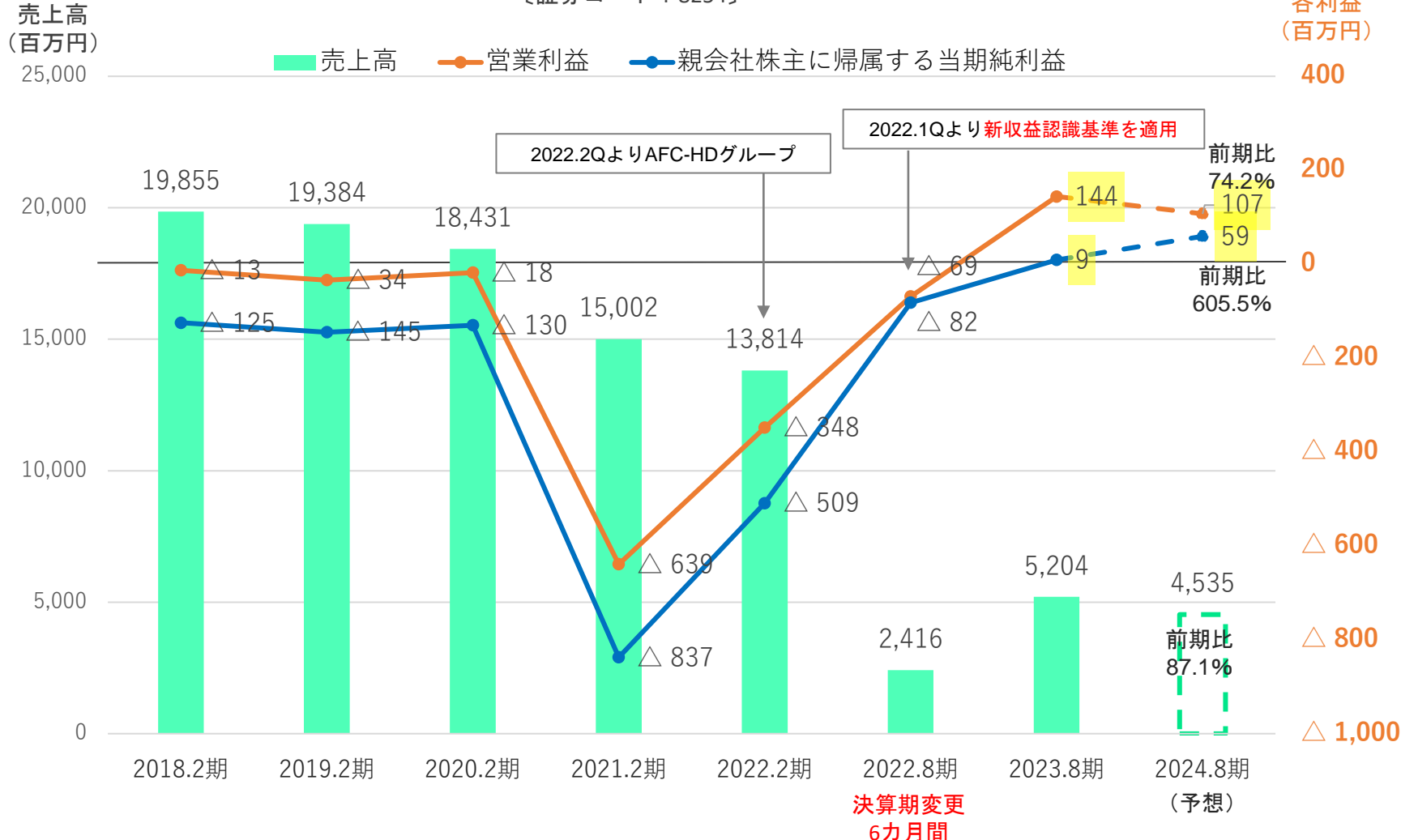
# 百貨店事業 (株)さいか屋



連結

## (株)さいか屋(連結) 業績推移

[証券コード: 8254]



横須賀店 本館		藤沢店	
6F	改装準備中	屋上	テニススクール
5F	改装準備中	8F	レストラン <b>2023年6月 OPEN</b>
4F	紳士服等	7F	YAMADA
3F	婦人服等	6F	YAMADA
2F	婦人服、うなぎの佳川等	5F	YAMADA
1F	AFCショップ、買取カバン、菓子、ファッション雑貨等	4F	YAMADA
B1F	YORK FOODS	3F	婦人服等
B2F	駐車場 <b>2024年3月 OPEN</b>	2F	婦人服、紳士服等
B3F	駐車場	1F	AFCショップ、買取カバン、菓子、ファッション雑貨等
		B1F	<b>改装工事中</b>
		B2F	駐車場

**2024年秋 OPEN**  
ライ7

# 飲食事業 (株)なすび

- 各店舗において、全体的に回復傾向。  
中でも法人関係の宴会や会食需要の回復が売上増に大きく寄与した。
- 2023年9月、日本テレビ系列の番組“ヒューマングルメンタリー オモウマイ店”にて、「なすび総本店」のジャンボ海老フライが紹介され、好評を得ている。



▼なすび総本店（静岡市清水区）



2023年12月8日OPEN  
天ぷらと手延べそうめん「あさやま」  
さいか屋 横須賀店 南館3階



2024年1月19日OPEN  
和食と寿司「一ふじ二たか」  
JR静岡駅南口近く 1F和食、2F寿司



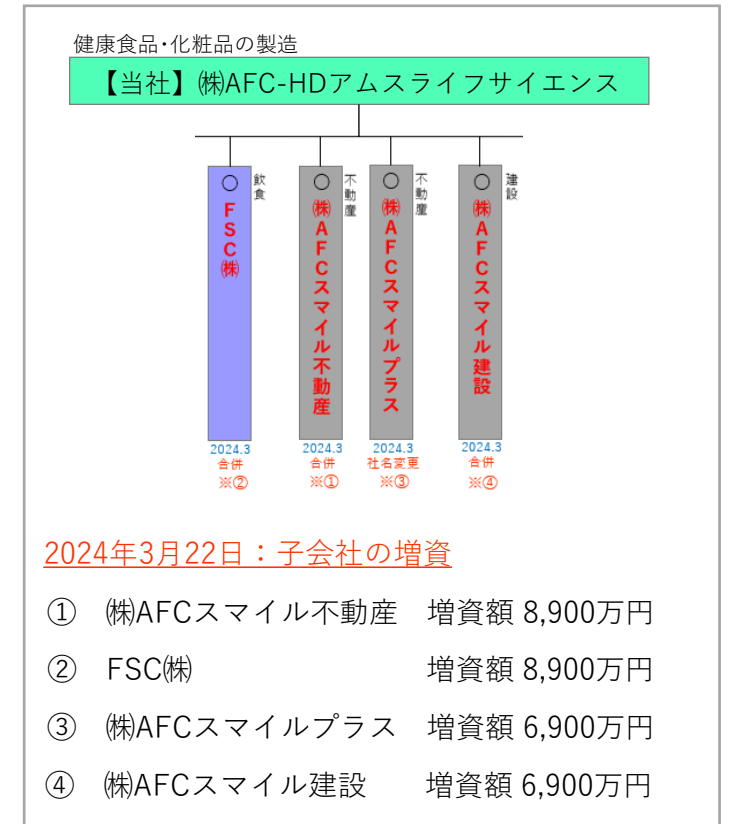
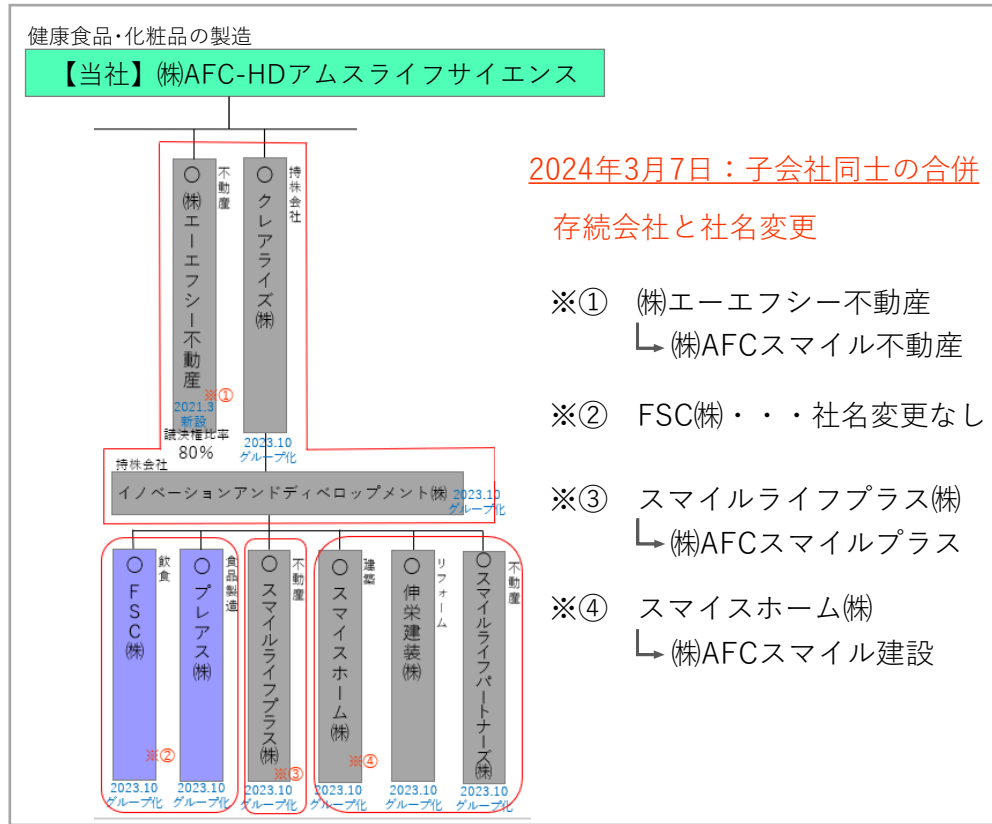
## 飲食事業

2024年8月期 通期予想 売上高 2,764百万円（前期比 186.5%）  
営業利益 33百万円（前年に比べ 85百万円改善）

# その他事業 (株)エーエフシー不動産ならびにクレアライズ(株)とそのグループ会社

## ■子会社同士の合併および子会社の増資

グループ経営の効率化による収益性の向上と、機動的な組織体制を構築し改善を図る。



その他事業

建設・不動産業  
給食(ベトナム)  
日本語学校  
旅行業 等

その他事業  
2024年8月期 通期予想

売上高 3,060百万円 (前期比 196.7%)  
営業利益 6百万円 (前年に比べ 25百万円改善)

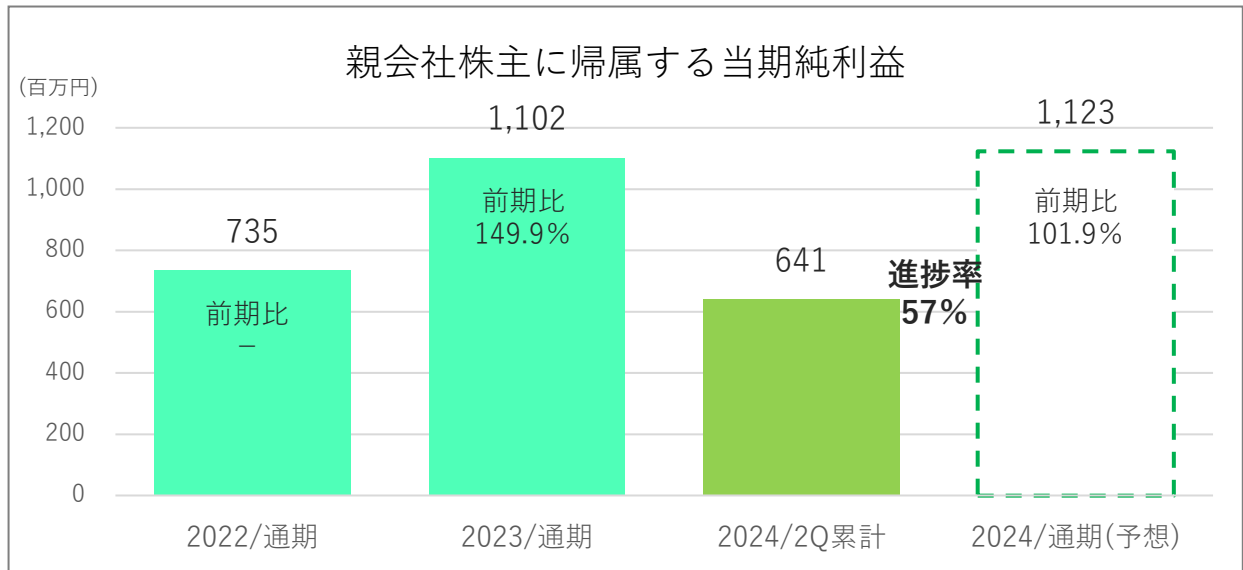
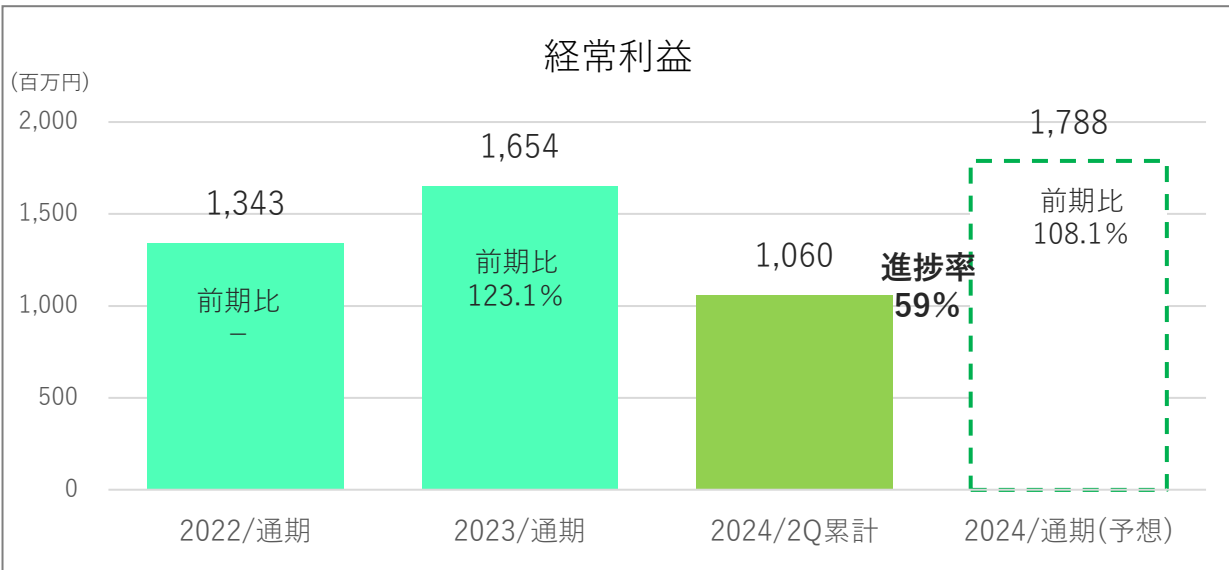
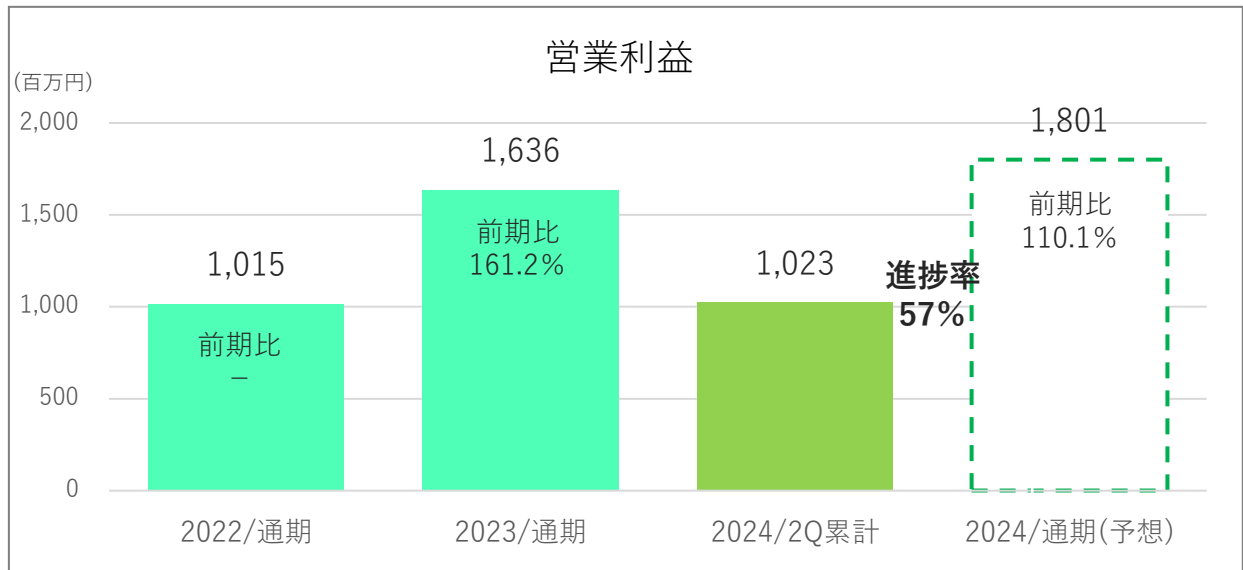
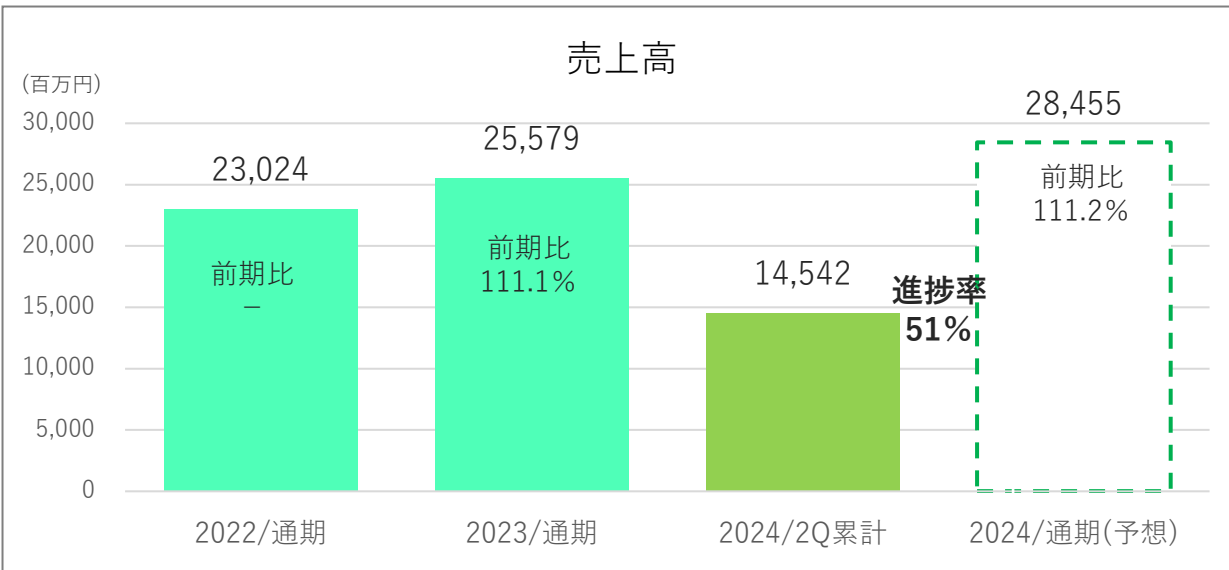


Section 4

2024年8月期 通期見通し

# 経営成績【連結】

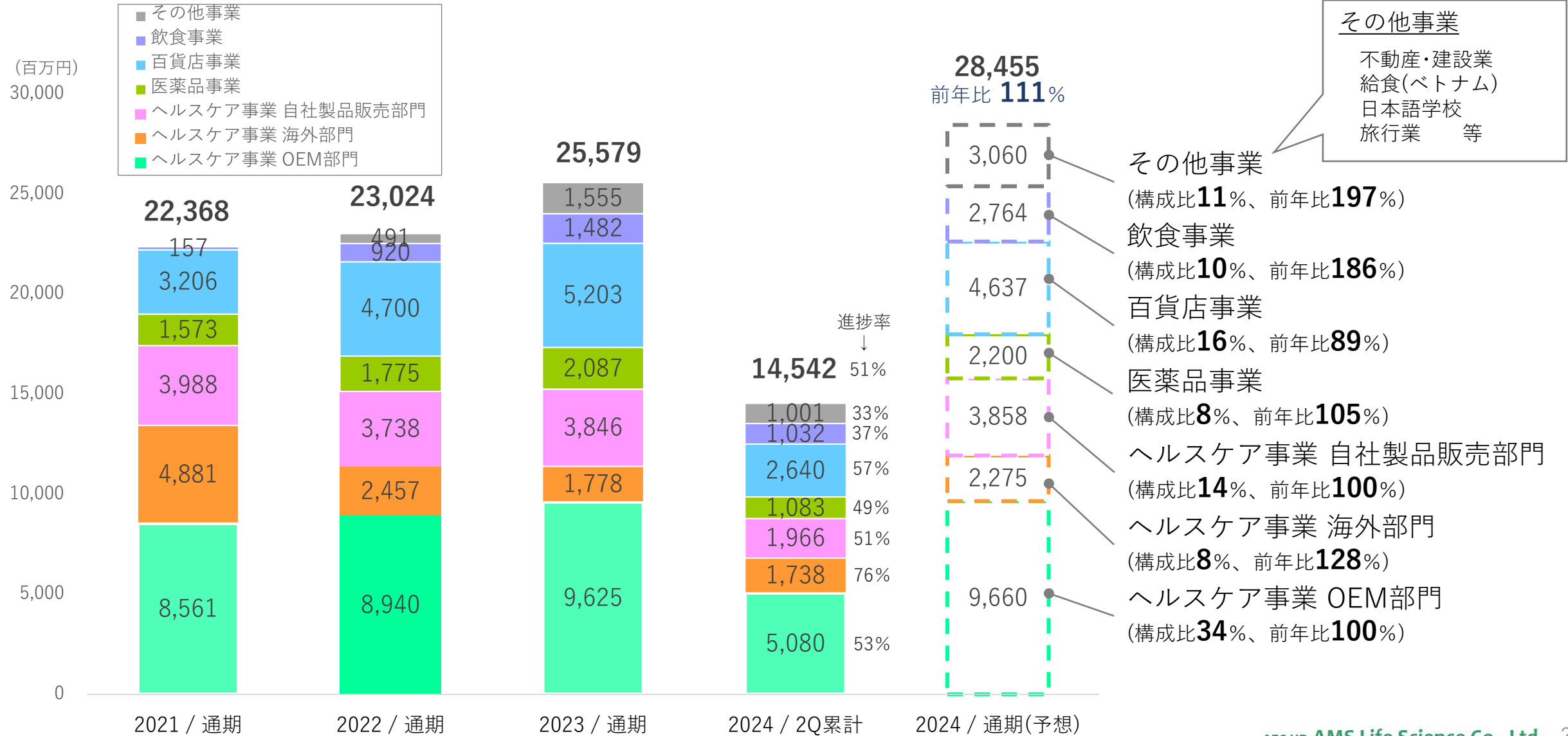
連結



\* 2022.8期より新収益認識基準を適用しており、売上高及び利益面において影響が生じるため、前期比は記載しておりません。

# 事業別売上高【連結】

連結



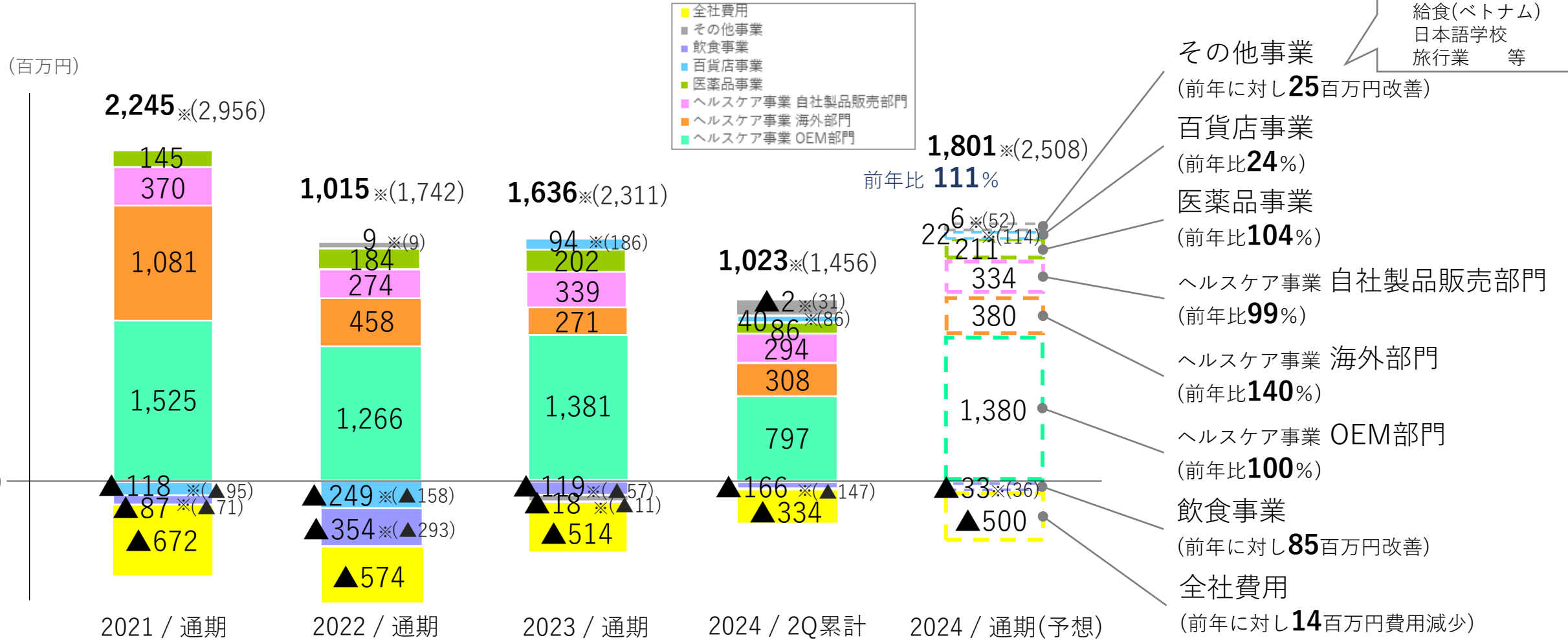


# 事業別営業利益【連結】

連結

※( )は、のれん代 (2021/通期：38百万円、2022/通期：152百万円、2023/通期：160百万円、2024/2Q累計：98百万円、2024/通期：206百万円) を償却していません。

その他事業  
建設・不動産業  
給食(ベトナム)  
日本語学校  
旅行業 等



※2023.10.02にグループ化した浜松の企業（クエアライズ(株)及び同子会社1社、孫会社6社）を、2024.2QよりPLに加算（みなし取得日：2023年11月30日）



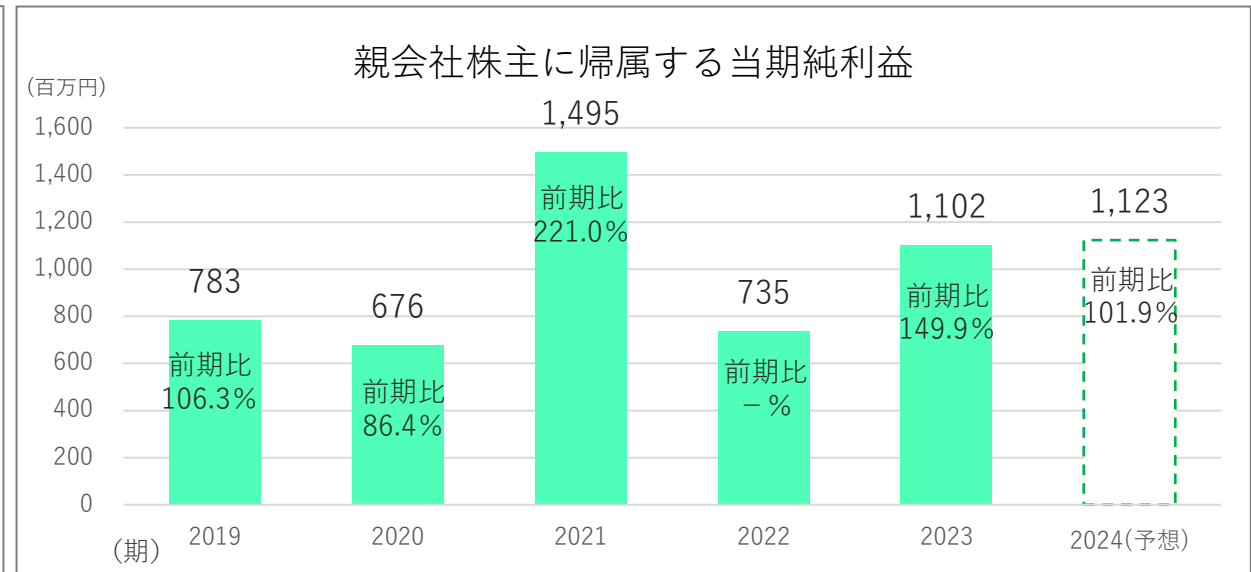
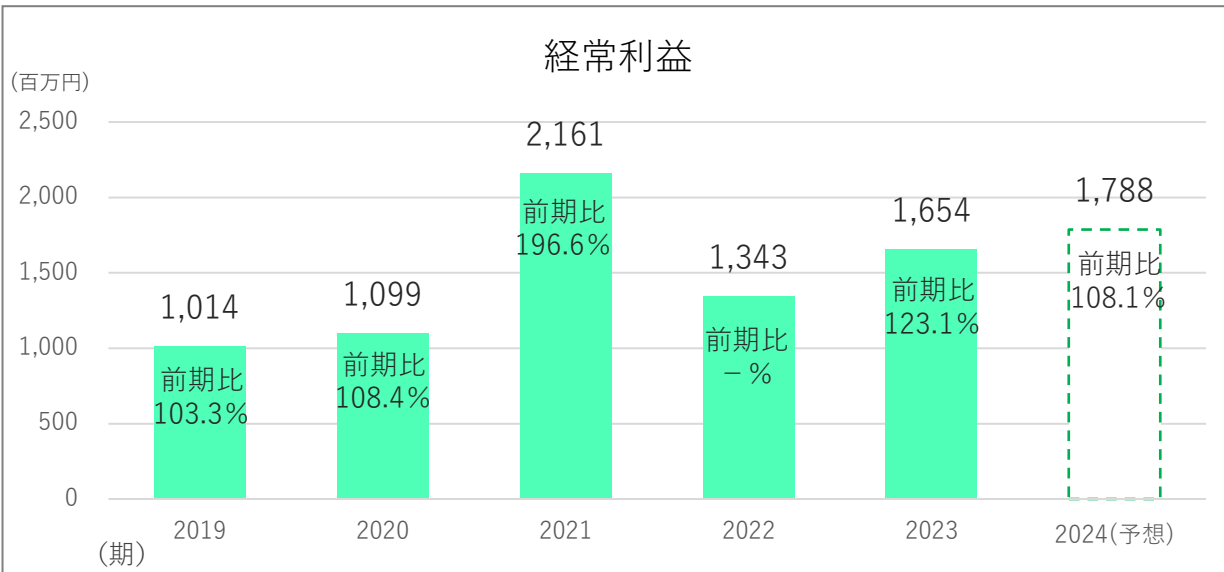
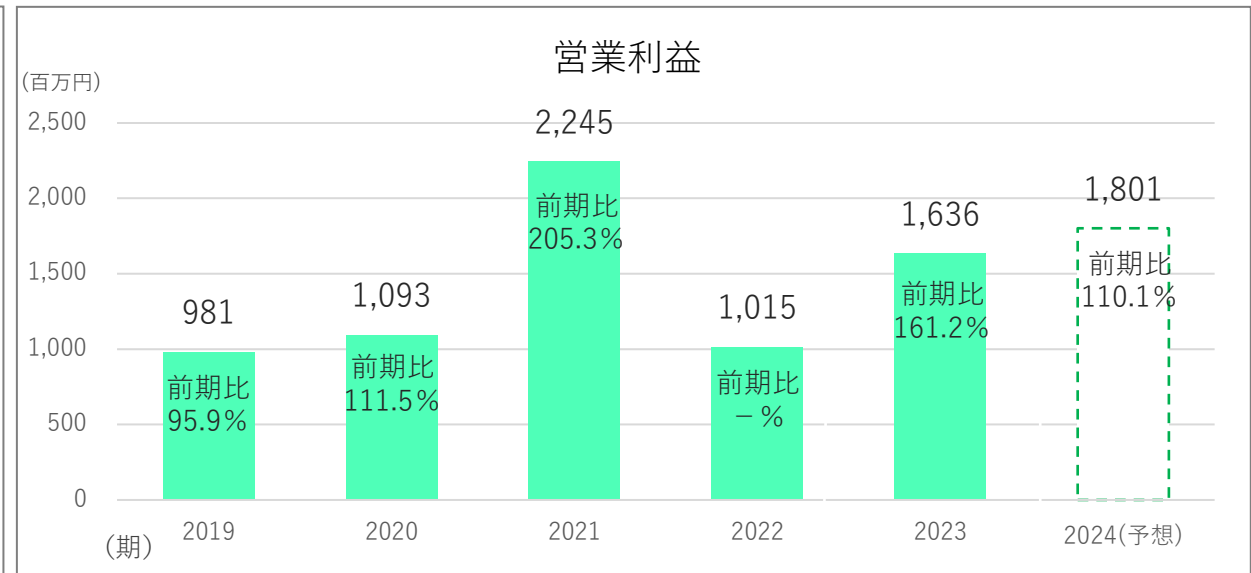
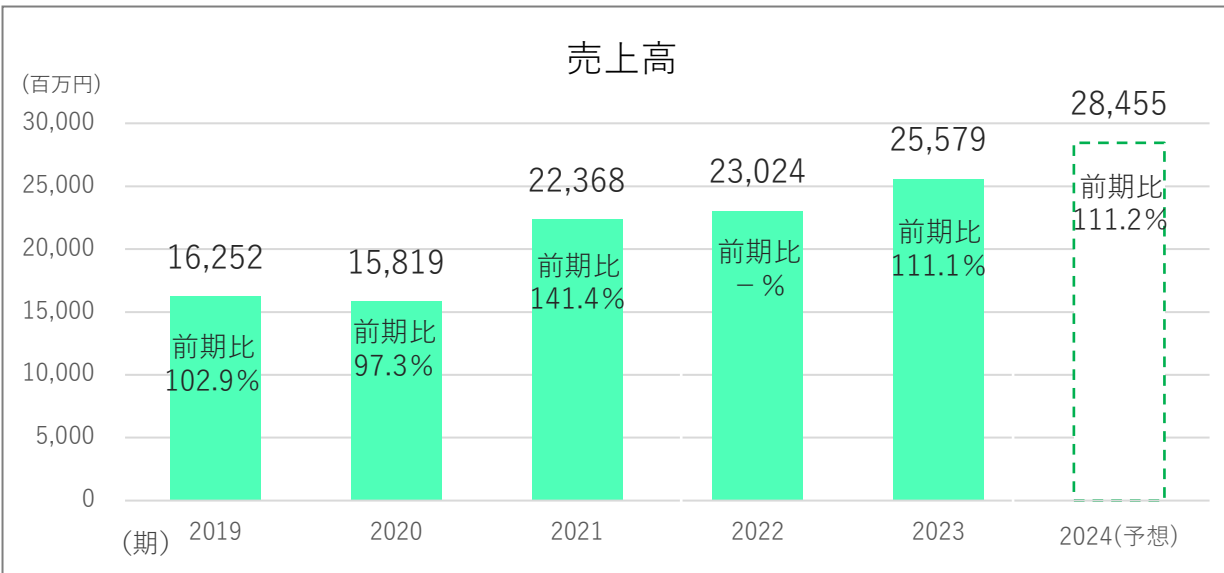
(ご参考 1)

年度ごとの業績・決算情報



# 経営成績【連結】

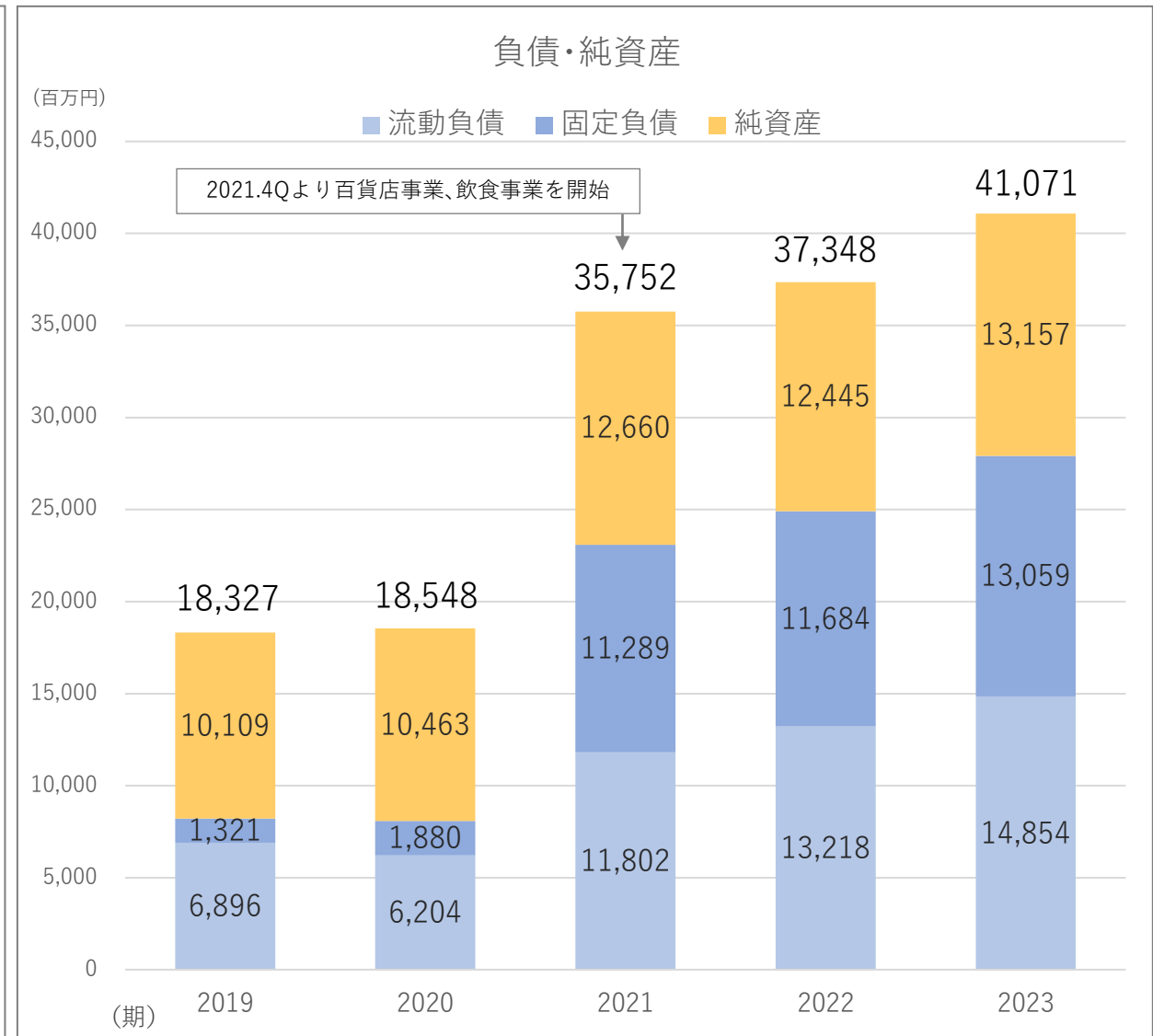
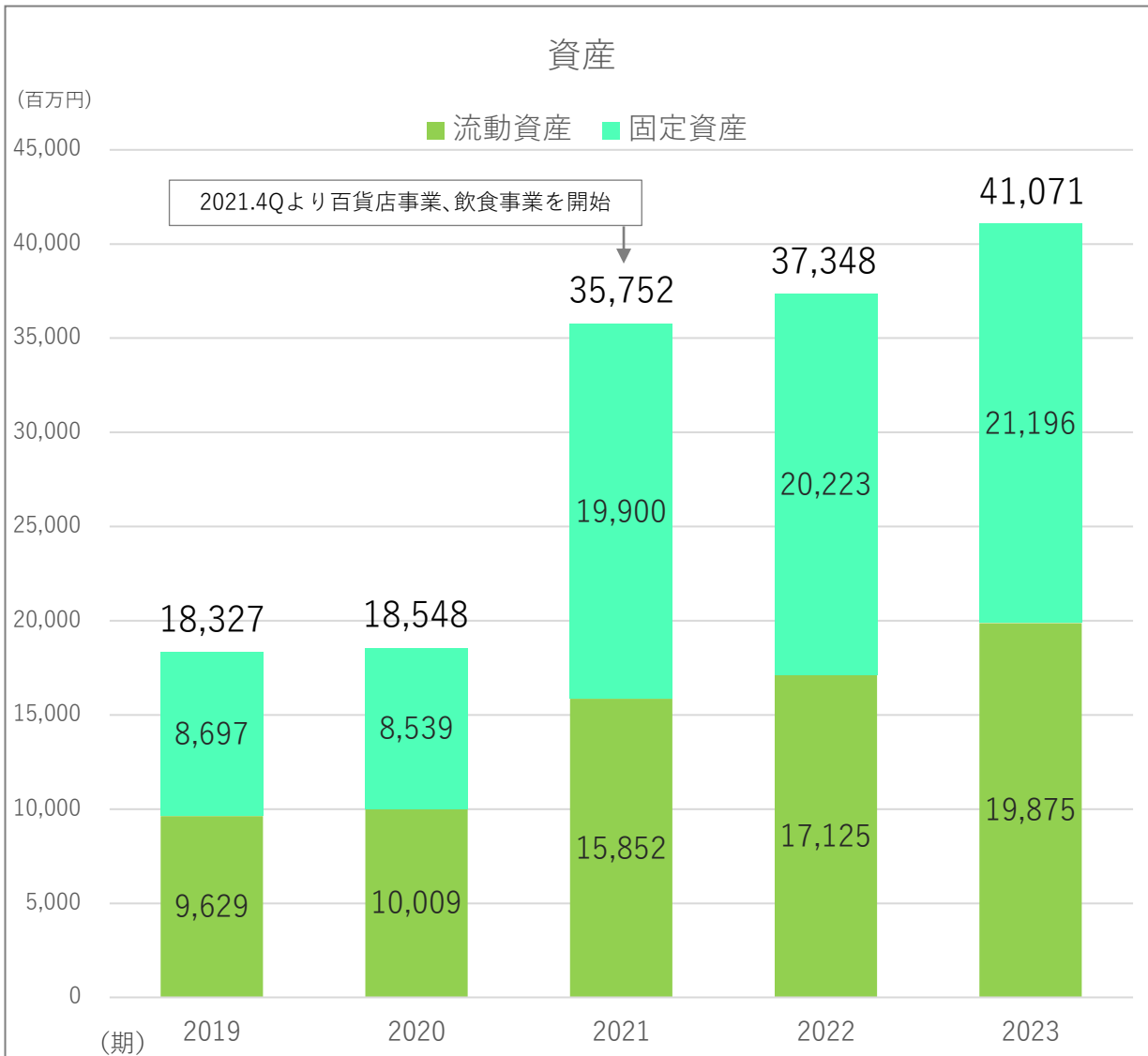
連結



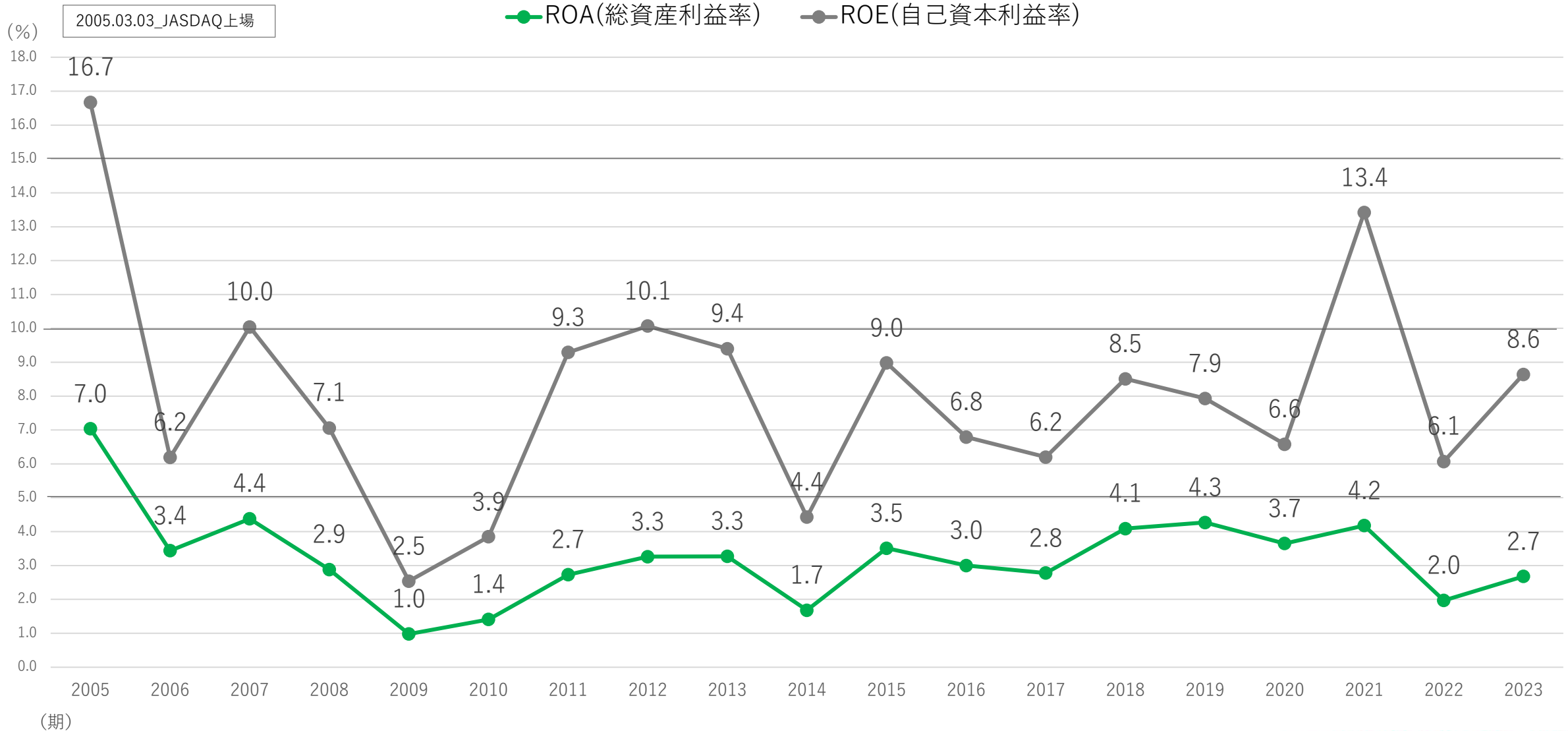
\* 2022.8期より新収益認識基準を適用しており、売上高及び利益面において影響が生じるため、前期比は記載しておりません。

# 財政状態 【連結】

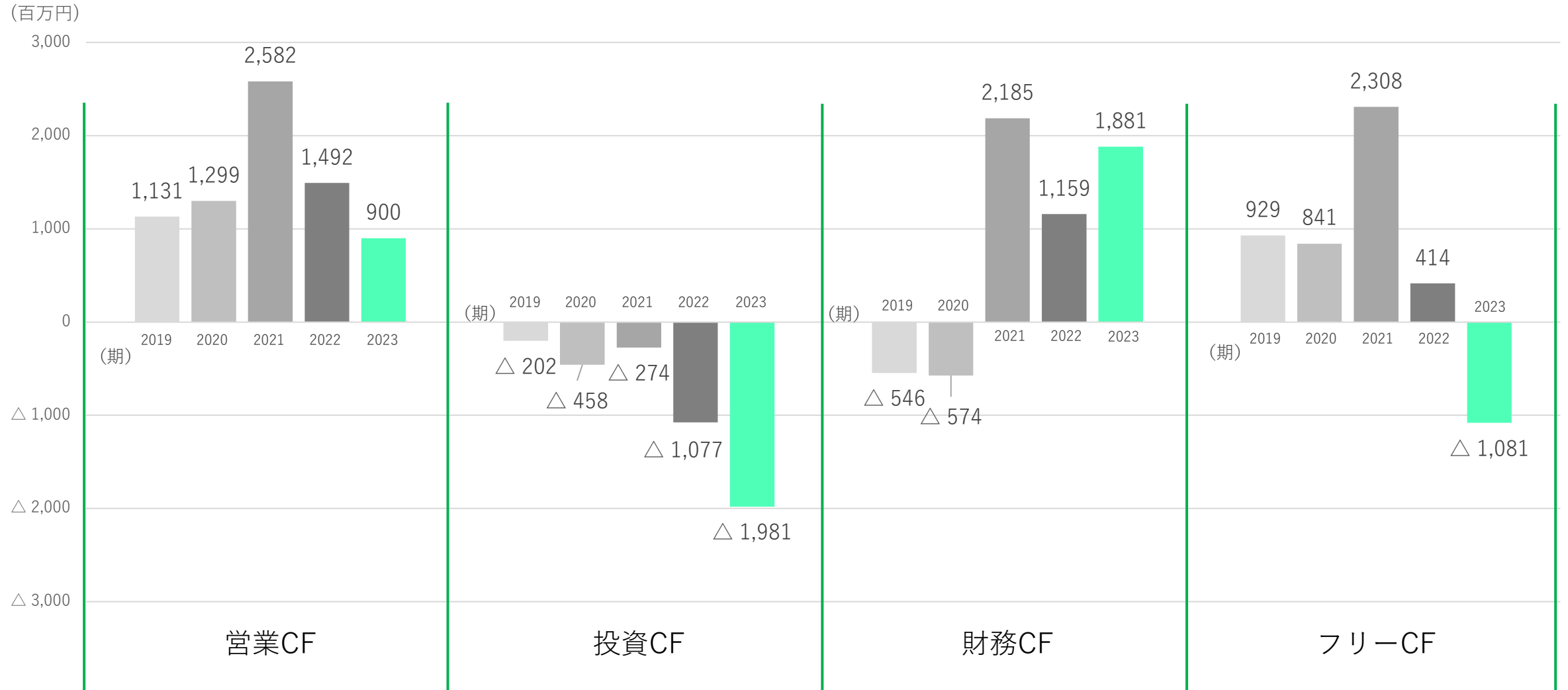
連結



# 連結収益性の推移【連結】

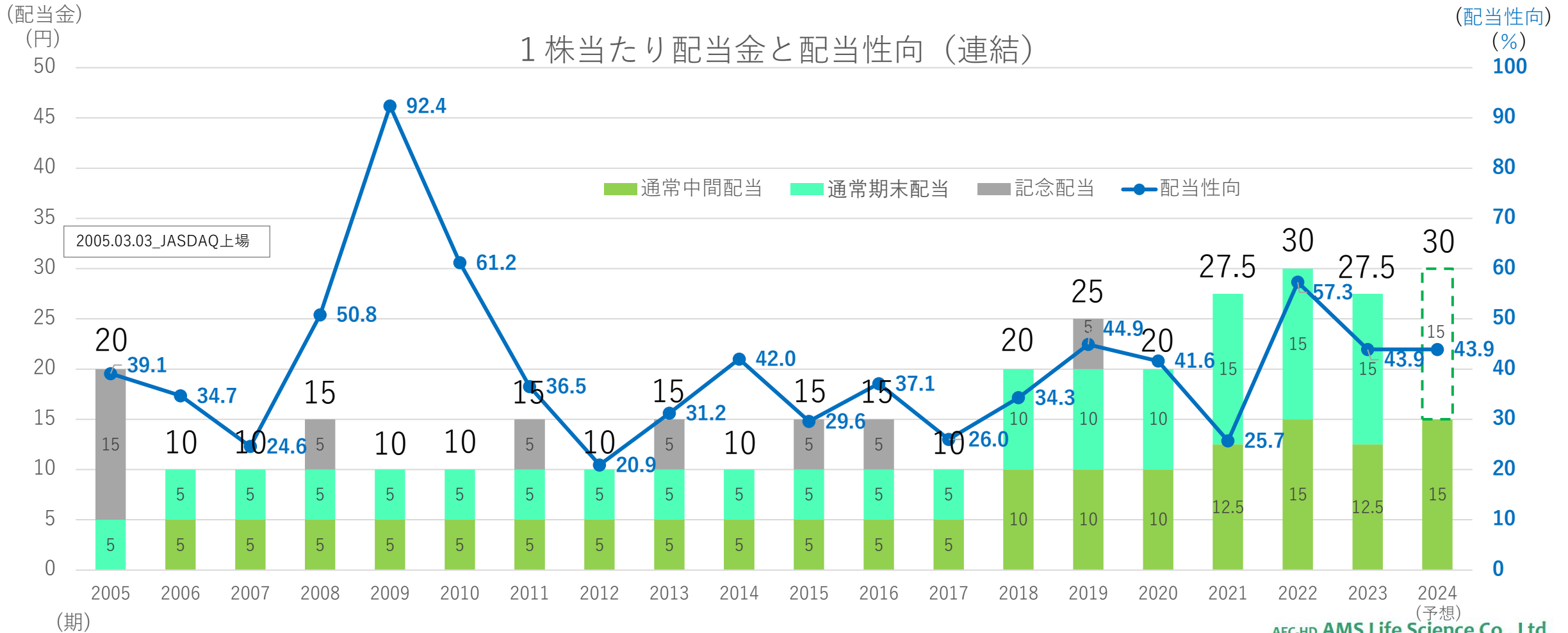


# 連結キャッシュ・フロー【連結】



# 株主還元～配当方針について～

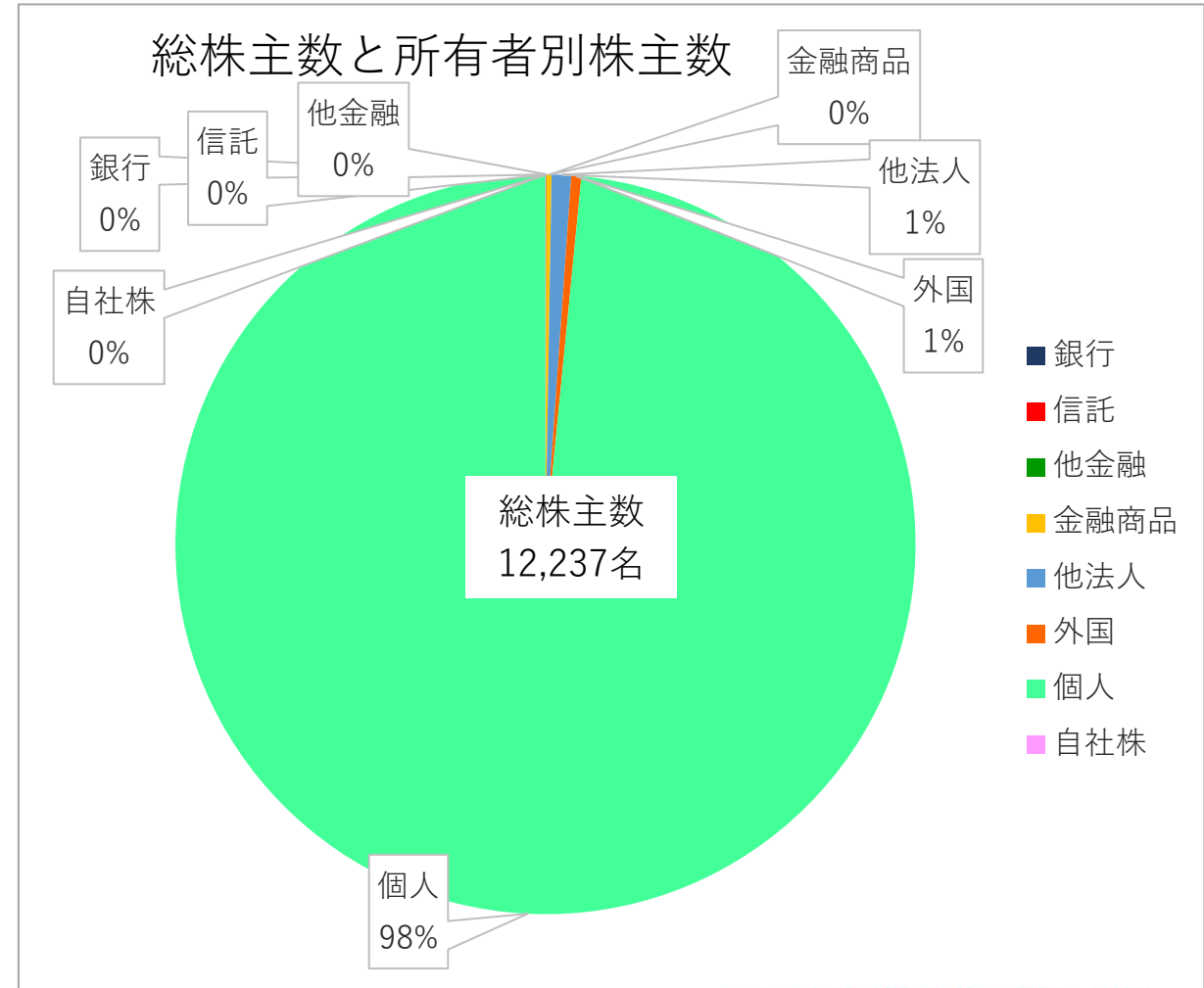
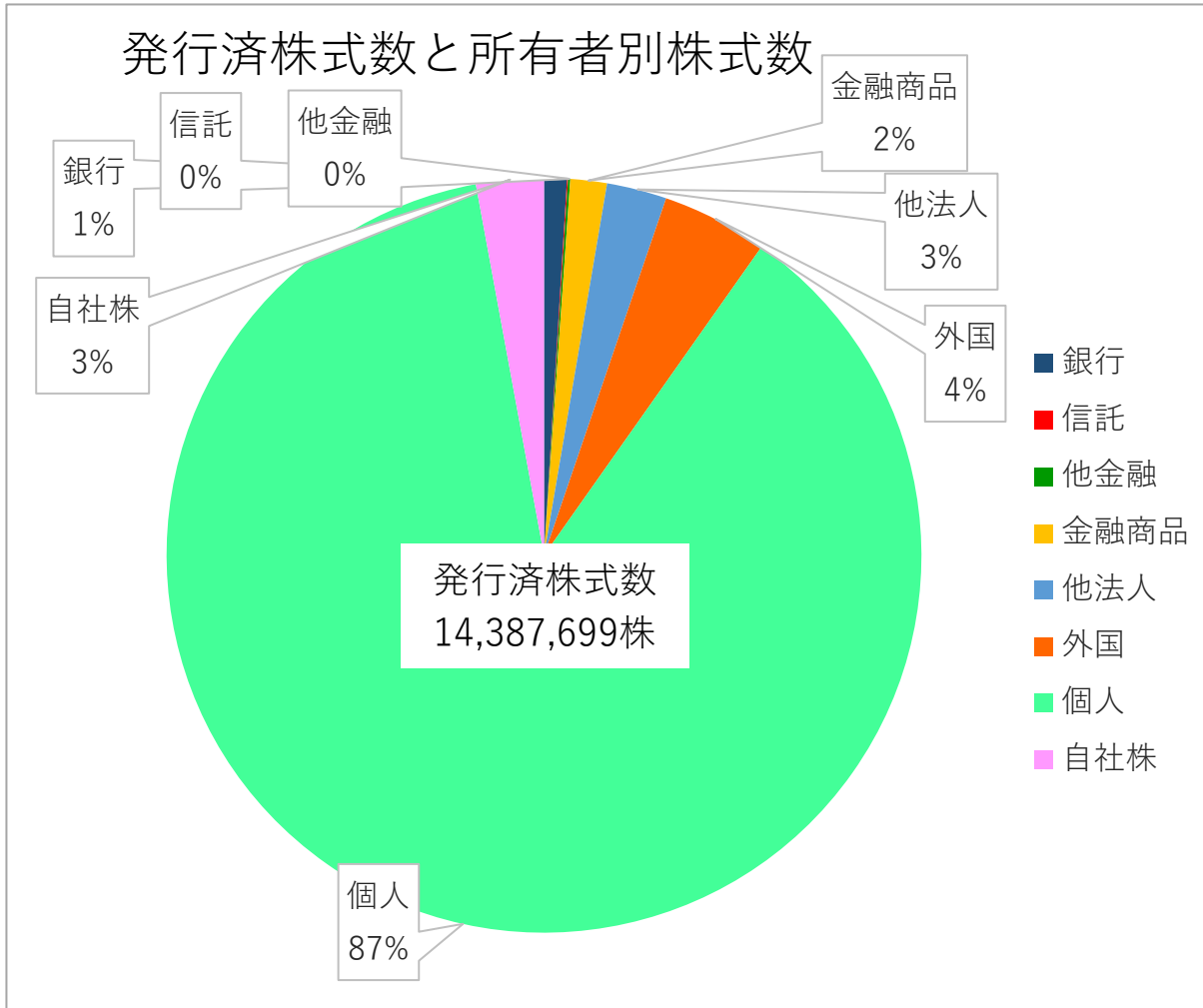
**基本方針：純利益を、株主1/3・自社(成長投資)1/3・従業員1/3で配分する。**



# 株式の状況① 発行済株式数と分布状況

発行済株式数は、約1,400万株。所有者は、個人が87%を占める。

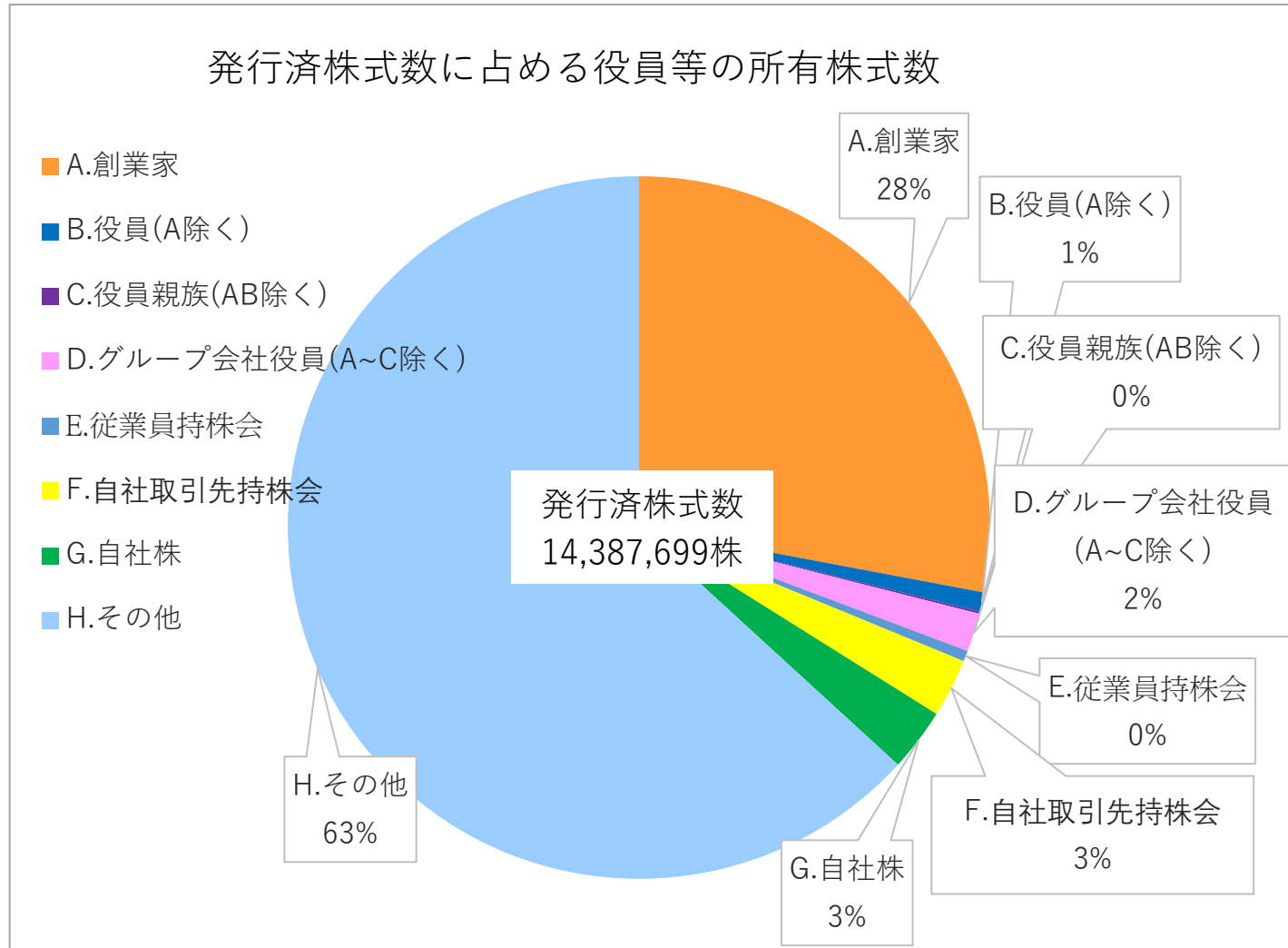
総株主数は、約12,000名。所有者は、個人が98%を占める。



# 株式の状況② 役員等の所有株式数・大株主の状況

単体

発行済株式数のうち、役員・自社関連が37%を占める。



## 大株主の状況

		2023 / 4Q	
	株主名	持株数(株)	持株比率(%)
1	浅山忠彦	2,050,070	14.2
2	浅山雄彦	1,161,930	8.1
3	自社株	416,094	2.9
4	自社取引先持株会	387,600	2.7
5	木下圭一郎	336,700	2.3
6	浅山麻衣子	305,000	2.1
7	浅山麻里奈	300,000	2.1
8	藤田圭亮	129,167	0.9
9	(株)静岡銀行	124,900	0.9
10	NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN(CASHPB)	118,400	0.8

## 株式の状況③ 株価情報

連結

年月日	概要	区分	株価(円)	調整後株価(円)
2005.03.03	ジャスダック上場	初値	35,200	1,173
2005.03.03	ジャスダック上場日の終値	終値	46,000	1,533
2005.08.25	3分割前 最終売買日	終値	55,500	1,850
2005.08.26	【株式分割】 1 : 3	—	—	—
2005.10.17	上場来の最高値 (新興銘柄や株式分割を行う企業に人気があった頃)	高値	32,850	3,285
2011.08.26	10分割前 最終売買日	終値	6,900	690
2011.08.29	【株式分割】 1 : 10	—	—	—
2018.05.22	【増資】 公募増資 170万株	—	—	—
2018.06.13	【増資】 オーバーアロットメントによる売出し 25.5万株	—	—	—
2020.03.17	上場来の最安値	安値	517	517
2024.04.24	直近の株価	終値	846	846



# 株式の状況④ 株価とPBR

2024年8月期 期初から直近までの株価は、754円～968円で推移。PBRは、0.81~1.02で推移。





(ご参考 2)

将来のビジョン (M&Aの方針)

## 経済成長に勢いのある国・地域の需要開拓を目指す

- ・ 海外における当社の強み：日本製に加え、株式上場会社である事の信頼性が高い  
【株AFC-HDアムスライフサイエンス】
- ・ 国際化への足掛かりとして、中国（重慶市1社・浙江省1社）・ベトナム（ハノイ1社）へ進出  
【愛福喜(重慶)生物科技有限公司】 【杭州永遠愛生物科技有限公司】 【5 SPRO Joint Stock Company】
- ・ 不動産業・建設業は、国内外の事業拡大を見据え自社工場建設・建物の保守等を担う  
【株AFCスマイル不動産】 【株AFCスマイルプラス】 【株AFCスマイル建設】 【株AFC建設】
- ・ 飲食事業においても、海外へ進出していく  
【株なすび】 【株FSC】
- ・ 日本語学校は、将来当社へ入社を希望する学生について、現地幹部候補となる人材を育成  
【AFC国際学院】
- ・ 旅行業は、海外の往来が増えることを想定  
【AFCツアーズ】



重慶市産業パーク視察(2023年9月)



5SPRO社 給食事業



AFC国際学院 入学式

## M&Aの方針

- ①健康食品、化粧品及び医薬品の開発、製造販売を核に、
  - ②飲食業と合わせた観光事業、
  - ③建設業と合わせた不動産開発事業
- を三本の柱に、
- これら三本の柱を太くするために、
- 必要なリソースを求めております。



AFC-HD **AMS Life Science Co., Ltd.**